

日本臨床神経生理学会 ハンズオンセミナー SCSコース

第7会場（国立京都国際会館）
2022年11月25日（金）9:30~11:30

脊髄刺激療法(SCS)は疼痛治療を主たる目的にした、ニューロモデュレーション治療です。近年では、閉塞性動脈硬化症や虚血性心疾患において疼痛治療とともに血管拡張効果にも注目されています。他にもパーキンソン病の歩行や姿勢異常の改善効果なども提唱されています。SCSは、高頻度刺激、MRI対応などの機器とプログラマが著しく進歩しています。最新のデバイスを手に取り、刺激の内容、設定、操作について経験することが、本セミナーの目的です。このハンズオンでは、最初に脊髄刺激療法の基本と国内で使用可能な2メーカーの刺激特徴について簡明な講義をおこないます。続いて各メーカーのプログラマ、刺激装置などを実際に手に取り学びます。

コーディネータ 市川 忠 先生

(埼玉県総合リハビリテーションセンター 脳神経内科)

1. セミナー

1.SCSを適応する疾患・症状

大島 秀規 先生（日本大学 脳神経外科）

2.SCSリードの挿入手技

上利 崇 先生（東京都立神経病院 脳神経外科）

3.SCSの刺激方の選択と調整

西川 泰正 先生（岩手医科大学 脳神経外科）

2. ハンズオン

- ・ 日本メドトロニック株式会社
- ・ アボットメディカルジャパン株式会社

お申し込みは日本臨床神経生理学会第52回学術大会HPより

(<https://www.c-linkage.co.jp/jscn2022/>)